

産休など家庭をどう維持してもらおうか考えたい

印刷、ウェブサイト、ウェブ予約などのシステム、電子看板の4事業を柱とし、助言や営業、企画立案を担う。

大学卒業後、大阪市のパソコンスクールに就職した。「母(瀧静子社長)が早くから勉強するように勧めていた」パソコンのインストラク

Myウェイ
Myライフ

ターの資格を在学中に取得。「ウェブに興味があったので、当店で売り上げの9割を印刷が占める家業の太平洋堂には抵抗があった」

就職から約6年後、太平洋堂の顧問から入社を勧められた。「一人っ子なので(私が家業を継ぐことで)、次世代につなげていくべきだと判断してくださいました」。月1回、経営勉強会を2人で開くよう

母親目線 経営に生かす



太平洋堂取締役企画戦略室長
瀧 麻由香さん

になって半年後、顧問が亡くなった。「顧問の思いに込められて」、2003年に入社した。

仕事の傍ら、バンド演奏を楽しんでいた生活は一変した。「がむしゃらに経営の勉強をし、太平洋堂一色に生きてきた。家に帰るのは午前様ぎりぎり」の日々が続いた。

02年の結婚後、「子どもは担当替えも必要だと思っよう

仕事が終わった翌日だった。親で、出産を勧めていたおば

「あきらめていた」が昨年12月16日、つわりが始まった。経営で忙しい母に代わる育ての親で、出産を勧めていたおばが亡くなった翌日だった。7月から産休に入った。「実務はできないが、相談などには乗っていきたい。自分にとっても、育児に集中するよりは会社にちょっとした貢献するのがやりがいになる」

(矢ヶ村尚幸)

たき・まゆか 1996年、京都ノートルダム女子大英文学科卒。大阪市のパソコンスクール講師を経て2003年、太平洋堂に取締役企画戦略室長として入社した。生け花の未生流笹岡師範代の免許を持つ。京都市北区出身、在住。38歳。